

発 言 通 告 書

令和2年9月4日

松山市議会議長 若江 進 殿

松山市議会議員 檜 垣 良 太

次のとおり通告します。

発言順位	1 2	受領日時	9月 8日 午後 1時 30分	1 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式		一括方式	発言時間 約 40 分
答弁を求める者	・市長	・教育長	・選挙管理委員会委員長	・公平委員会委員長
	・農業委員会会長	・監査委員	・公営企業管理者	

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	松山市 SDGs推進協議会について	<p>(1)松山市 SDGs 推進協議会規約第3条3項における協議会の活動について「環境モデル都市まつやまの推進に関すること」とした理由について</p> <p>(2)全員参加で「持続可能な地域」の実現に向けて、本市におけるSDGsの取組にローカリズムの視点を取り入れ、地域に落とし込む必要があると考えるが、松山市 SDGs 協議会におけるローカリズムへの認識と今後の展望について</p> <p>(3)中島でつくった「環境に優しい電力」を道後などで活用してもらうツールとしてグリーン電力証書事業を取り上げているが、事業の裾野を広げる今後の展望について</p> <p>(4)スマートアイランドモデル分科会で、にぎわい創出におけるブランド定義を地域住民も含めて行う考えがあるか。</p> <p>(5)スマートアイランド構想の細部に今後サービスが拡充される5Gすなわち第5世代移動通信システムにのせた新文明技術の活用について挙げられていないが、遠隔診療や生活における課題解決のソリューションとして、ロボティクスやモビリティ、AR(拡張現実)、VR(仮想現実)、ドローンなどの幅広い領域をカバーする最先端テクノロジーを活用した中長期的な戦略を持っているのか。</p>
2	多発する自然災害への本市の対応について	<p>避難情報に基づく速やかな避難行動を促すべく、市民の避難情報の認知度調査を行うべきだと考えるが、必要性の所感について</p>